

平成30年9月議会では、同年7月豪雨(西日本豪雨)・台風第21号を経て、水害の危機意識が高まる中、本市として水害対策について何が出来るのかを質問をいたしました。

その他、国の学習指導要領の改訂に伴い大きな影響を受ける英語教育について、浦安市が対策の推進に関する条例について、一部抜粋でまとめました。市民の皆様へご報告させていただきます。

都市型水害から浦安を守れ

水害対策にUSJ?

集中豪雨対策について総合的な計画策定を!

浦安市が水害対策に出ることは何か

東と南を東京湾、西を旧江戸川に接する本市は、江戸川の氾濫と東京湾の高潮という2つの水害を受けてきました。記録に残る数多くの水害のなかでも、大正6年の高潮、昭和24年のキティ台風、昭和56年の台風24号の3つは、大きな被害を与えました。また大規模なものではないものの、道路冠水や住宅の浸水などが度々発生するなど、良くも悪くも水と上手く付き合っていかなければならない自治体です。また直近の7月豪雨(西日本豪雨)・台風第21号を経て、水害対策について危機意識がより一層高まっていると考えております。

本市としても、集中豪雨対策事業に予算措置を行っており、平成30年度では集中豪雨や高潮などによる冠水対策を実施すべき区域を明確化し、短期、中期、長期といった計画期間で浸水対策を効率的かつ総合的に実施するための計画の策定を進めているところで、また近年の気候変動や震災

による地盤沈下などを踏まえ、従来の排水基本計画を基に高潮対策も考慮して見直しを行っています。



▲舞浜交差点の道路冠水

財政的に水害対策の整備費用はどの程度かかるのか

本市では、排水施設の老朽化対策や市街地の都市化への対応及び大雨の増加に対処するため排水基本計画を平成18年度に策定しています。

この計画では、整備事業費が約404億円、境川河口部の水門と排水機場整備で約127億円となっており、具体的な積算根拠について伺いました。担当の都市整備部長より『平成18年度に策定された排水基本計画における概算整備費用約404億円の内訳としましては、雨水管の入替工事に約49億円、老朽化したポンプ場の補修・整備工事に約88億円、貯留施設新設工事に約267億円、土木工事に約20億円、計約404億円と見込んでいます。』との回答でした。

また事業費には、『国や県からの補助金を活用していく予定』とのことで、本市の予算規模(平成29年度では一般会計で約709億円)を鑑みると、市単独の財政措置は厳しい点や河川・海岸管理は県の管轄となることから、引き続き国・千葉県に対し本市の意見・要望を伝えていく必要があります。

また事業費には、『国や県からの補助金を活用していく予定』とのことで、本市の予算規模(平成29年度では一般会計で約709億円)を鑑みると、市単独の財政措置は厳しい点や河川・海岸管理は県の管轄となることから、引き続き国・千葉県に対し本市の意見・要望を伝えていく必要があります。

●排水施設等整備事業費	
雨水管の入替工事費	約49億円
老朽化したポンプ場の補修・整備工事費	約88億円
貯留施設新設工事費	約267億円
土木工事費	約20億円
計	約404億円
●境川河口部の整備事業費	
水門施設工事費	約55億円
排水機場施設工事費	約52億円
土木工事費	約20億円
計	約127億円

▶平成18年度策定の排水基本計画上の概算費用

浸水の被害想定額はどの程度か
排水基本計画では、事業の

整備を行わなかった場合、被害想定額を約792億円と見積もっていますが、どのようなケースを想定しているのか、また、積算根拠について伺うと、『被害想定額の約792億円については、計画1時間降水量を60ミリメートル、流出係数を0.65として浦安市全域の20パーセントが浸水した状態を想定したもので、平成17年4月に国土交通省から示された「治水経済調査マニュアル」により試算しています。約792億円の内訳としては、浸水による直接被害額が約745億円、直接被害から波及的に生じる間接被害額が約47億円となっております。』との回答でした。

水害対策は大部分を千葉県との協議・調整が必要

Profile

柳きいちろう(本名:柳毅一郎)
1984年(昭和59年) 東京都文京区生まれ
2002年(平成14年) 明治学院高校卒業
2008年(平成20年) 早稲田大学商学部卒業
2008年(平成20年) 株式会社商工組合中央金庫入庫
2011年(平成23年) 浦安市議会議員初当選
2012年(平成24年) 慶應義塾大学大学院経営管理研究科中退
2015年(平成27年) 浦安市議会再当選(二期目)
現在、浦安市議会教育民生常任委員会委員

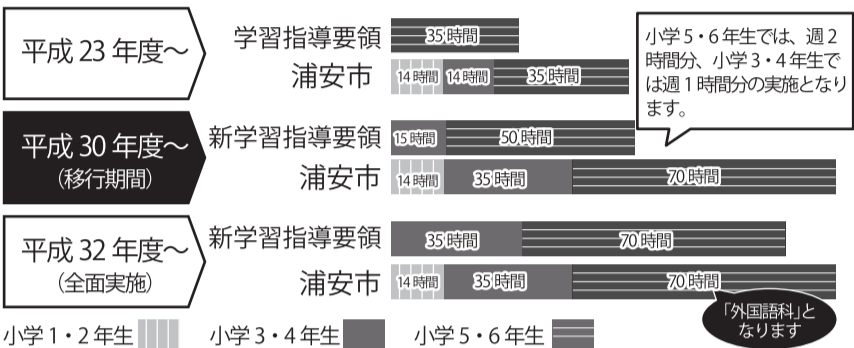


計画は策定しているものの、整備費用の面から水害対策は主に千葉県と協議することなしに進まないことが多い為、市として今後どのように交渉を進めていくのか伺いました。答弁として『河川・海岸管理者である千葉県に対しては、これまで地盤沈下対策や高潮対策耐震化などに向けて協議・要望を行ってきましたが、境川B、Cゾーン（新橋〜江川橋までの区間及び江川橋〜東水門の間）の河川改修や旧江戸川護岸、舞浜地区海岸護岸の整備や水門・排水機場機器の改修・修繕など、進捗を見ている事業もありません。しかしながら、境川河口部への水門・排水機場整備など、実現していない事業もあることから、これら事業の実現に向け、協力できることは協力し、引き続き、県と協議・調整を進めていきたいと考えています。』とのことでした。

今後については、集中豪雨対策事業の全体計画を策定し、計画案に基づき着実に水害対策を行う必要があると見ます。計画策定に際しては、震災の液状化の影響等をしっかりと検証してほしいと自身からも要望いたしました。

また優先度が高い舞浜地区の道路冠水対策事業を行う予定となっており、その経

外国語活動年間授業時間数の比較



英語教育について

激変する英語教育の学習指導要領改定に対応を！

過も注視して参ります。

【移行期間】で着実な準備を国の学習指導要領の改訂に伴う平成32年度（2020年度）からの小学校・中学校への外国語活動の導入、高学年での教科化を見据え、本市では先行的に、本年4月から小学校3・4年で年間35時間の外国語活動を実施するとともに、5・6年では年間70時間の外国語活動を実施しています。

一学期を経過し、小学校教員の授業の課題はどのようなものか質問しましたところ、担当の教育総務部長より『学習内容の整理に加え、指導する担任とALT(外国語指導助手)との連携や指導方法の工夫改善等に日々努めているところです。』との答弁がありました。英語の学習指導要領改定の内容を調べると大幅な改訂であり教員の負担も少なくないですが、生徒のために前向きに取り組んでほしいと伝えました。

さらに今後は、小学校から英語が教科化されるのと同様に、高校・大学入試と民間試験である英語検定試験がさらに導入されることとが現実となることから『本市として英語検定料の補助を検討してほしい』と要望いたしました。

全国的に見ても英語検定料の補助について実施している自治体もあります。例えば英語教育で有名な福井県（全国英語力調査では、福井県の公立中学・高校の3年生が都道府県別でともに1位）では平成30年度から県立高校の一般入試に「英検」の結果を点数で加算させるなど、なかば英検の受験が義務化しています。そのため、福井県教育委員会では中3と高2を対象に、受験料の補助を行っています。

がん対策について

浦安市がん対策の推進に関する条例が満場一致で可決

千葉県内でも、木更津市や四街道市なども中学3年生を対象に補助を行っている先行事例もあり、保護者の経済的負担も考慮し、ぜひ検討・実施していただきたいと思っております。

9月議会にて満場一致で可決した「浦安市がん対策の推進に関する条例」は、がんが市民の生命及び健康にとって重大な問題であることを鑑み策定しました。本条例は市の責務並びに市民、保健医療福祉関係者及び事業者の役割を明らかにするとともに、がん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、総合的にがん対策を推進することを目的としています。

具体的項目としては①市の責務、市民・保健医療福祉関係者・事業者の役割②情報の提供③がん教育④がんの予防及び早期発見の推進⑤がん患者等への支援・がん患者等への就労支援・在宅療養への支援といったことが盛り込まれています。

編集後記

今回は議会にて災害対策を主として取り上げました。議会閉会後、台風24号（9月30日）が起き様々な影響を本市にもたらしました。午後6時以降に京葉線が運休になり、深夜、台風の音で眠れない、翌日は始発から運転を見合わせる等市民の皆様への負担も大きかったと思います。市としても、台風が来ると防災要員の職員は泊まり込みで対応し、住民の安全を守るため全力で対応しております。情報提供としても、西日

とりわけ科学的根拠に基づいた正しいがん予防に関する情報発信やがん検診の受診率向上に向けた受診環境の整備を実施していくことを主眼に置いています。

本市の強みとしては、がん診療連携拠点病院である順天堂大学医学部附属浦安病院との連携の下にがん対策を推進していくこと出来ることです。がん患者及び家族が、がんと診断された時から、氾濫する情報に惑わされることなく状況に応じた適切な治療及び相談支援が受けられることにつながると期待しております。

さらに、がん患者や家族が抱える様々な苦痛に対する周

本豪雨といった甚大な浸水被害を経て市民の関心が高まる中、本市は、「浦安市洪水ハザードマップ」と「浦安市内水ハザードマップ」等を掲載した「浦安市水害ハザードマップ」を7月末に発表いたしました。（インターネットで浦安市水害ハザードマップと検索すると閲覧できます）西日本豪雨で甚大な浸水被害が出た岡山県倉敷市真備町では実際の浸水域が予測浸水域とほぼ重なり、その有用性が改めて実証されており。是非、ご覧いただければ幸いです。

困の理解が得られ、安心して生活することのできる環境の整備においては、国、県、医療保険者、保健・医療・福祉関係者、事業者、学校、がん対策に係る活動を行う民間団体等との相互連携の下に実施していきます。今後のがん対策の具体的施策については、自身も議会にて随時要望を行うて参ります。

柳きいちろうへの連絡はこちらからお願いいたします。

住所 279-0013
浦安市日の出 1-3-3-1203
TEL 050-3630-8791
E-mail kiichiro.yanagi@gmail.com